

2020年度 年末手当回答＋追加支給要求シリーズ⑪

東日本ユニオン 中央本部

これが現場社員の声だ！

○年末手当回答は2.2ヶ月となりましたが、まったく納得できないので書き綴ります。私は他の労働組合に所属をしていますが、この間、各労働組合からボーナス要求が出されて交渉をしていました。それぞれ要求額や求めている根拠の違いがあるのはわかります。

しかし、労働組合の原点は「働く労働者のために存在するものだ」と私は思います。働く環境や労働単価、生活基準、これらが良くなるためには、どこの労働組合が頑張ってもいいと私は思います。

確かに会社や世間一般的な解釈を考えると、このコロナ禍で2.2ヶ月も出て満足してしまう人もいられるかもしれません。しかし、私たちは公共交通機関として「緊急事態宣言下」においても変わらず業務を遂行し、鉄道をご利用していただくお客さまに少しでも安心してご利用いただけるよう各職場で奮闘して働いていきました。私たちは、人々が日常生活を送るためには必要なエッセンシャルワーカーを担っています。どんなに悪辣な環境下においても全ての人が変わらない日常生活を送っていくためには、なくてはいけない存在と思います。そのような環境下で働いている私たち社員の幸せとモチベーションを下げた会社からの年末手当2.2ヶ月回答には到底納得いきません！これからも働く労働者のための労働組合を共にめざして共に頑張っていきましょう！

○会社の低額回答と回答書の内容には怒りしかありません。「社会的使命の遂行に力を尽くして取り組んでいただいていることを重く受け止め」というならもっと形で示して欲しいです。

追加要求は本当にありがたいです。会社はこのことをしっかり受け止めるべきだと思います！

○社員は収入の確保のために、会社への増収に身銭を切って協力し、取り組んできた。今回の低額回答では、増収したくてもできません。毎月の生活費、ローン返済の補填にあてるのがやっとです。

職場でも不満、不安の声が上がっているし、何より仕事へのモチベーションが上がりません。追加支給をなんとしても勝ち取りましょう！

○会社は「生活給」との認識があり、社員の頑張りなどに対しても例年とはどことなくトーンが違ったようなので、どこかに期待を持ってしまっていた…。夏をも下回る回答には言葉もありません。